

鮎川義介 実業家・政治家。新興財閥日産コンツェルンを創設し、満州経営に深く関わった。

あいかわよしすけ

山口県で旧長州藩士の長男に生まれる。

明治14年政変1881 = 1歳 :

鮎川家は名家であったが、維新の変動期に取り残された父が、7人の子を抱えて家計が厳しいにもかかわらず、自分のみ贅沢をして横暴を振うなか、母方の祖母(井上馨の姉)から期待をかけられて育つ。

帝国憲法発布1889 = 9歳 :

日清戦争始・1894 = 14歳 :

山口高等学校に進学後、井上馨からエンジニアになることを勧められ、

子規句歌革新1898 = 18歳 :

比阿国産化・1900 = 20歳 : 東京大学工科大学機械工学科に入学、井上邸に寄宿し経済的援助も受ける。

日比谷公園・1903 = 23歳 : 卒業。エリートとして三井に入社させるつもりだった井上に対して、一職工としてスタートしたいと申し出

日露戦争終・1905 = 25歳 : 実地に可鍛鑄鉄の製造技術を学ぶべく、井上に願い出て渡米。三井物産社長益田孝父子と同行となる。

この間、日本の工業化による輸出立国を構想し、

韓国反日暴動1907 = 27歳 : 帰国すると、習得技術の企業化のため、またまた井上に鑄物工場設立を訴え、井上の依頼で親戚の貝島太助・藤田伝三郎らにも出資してもらって、

アヲア 創刊・1908 = 28歳 : ***戸畑鑄物を創業、専務兼技師長として優れた製品をつくるも全く売れず、**
セールスに力を入れ始めるも大損失を出すあり様で、

明治天皇没・1912 = 32歳 :

大正政変・1913 = 33歳 : **倒産の危機を迎えるが、藤田伝三郎の未亡人に救われ、高島屋元社長の娘とも結婚、**

第一次大戦始1914 = 34歳 : **第一次世界大戦がはじまるや一気に好調となり、**

義弟久原房之助と組んで製鉄業に乗出したり、

民本主義・1916 = 36歳 : **赤字も解消、**
貝島炭鉱の再建にも成功、

本格政党内閣1918 = 38歳 : **社長に就任するとともに、持株会社共立企業を設立してコンツェルン経営を実践する。**

大暴落・1920 = 40歳 : **義弟久原房之助から懇請されて、久原鉱業を中心とする系列企業の再建を引き受け、**

原敬首相暗殺1921 = 41歳 :

治安維持法・1925 = 45歳 :

金融恐慌・1927 = 47歳 :

共産党事件・1928 = 48歳 : **公開持株会社の日本産業株式会社(日産)に改組。日本鉱業・日立製作所を子会社として発足。**

不況で赤字を重ねたが、

満州事変・1931 = 51歳 :

五一五事件・1932 = 52歳 : ***業績が急激に好転し、社会的資金を動員しての拡大戦略を展開、日本水産、日産自動車などの有力会社を傘下にもつ新興財閥の雄、日産コンツェルンを形成して行く。**

帝人疑獄事件1934 = 54歳 :

芥川直木賞始1935 = 55歳 : 三井・三菱を上回る規模になるものの、**この頃から業績下降するなか、**

日中戦争始・1937 = 57歳 : 増税で妙味も薄れ、**軍部の要請で満州に進出、日産本社を移転して満州重工業開発株式会社とするが、**

大陸開発を行うものの、**日中戦争の本格化でうまく行かなくなり、**

日米開戦・1941 = 61歳 :

後事を高碇達之助に委ねて**帰国、東条内閣顧問となる。**

創価学会検挙1943 = 63歳 :

敗戦・1945 = 65歳 : 敗戦後、**戦犯容疑で収監されたが、**

新憲法施行・1947 = 67歳 : **釈放。**

朝鮮戦争始・1950 = 70歳 : ***参議院議員となり政界に進出、**

独立回復・1951 = 71歳 :

メデー事件・1952 = 72歳 : 中小企業助成会を結成し、

国連加盟・1956 = 76歳 : **中小企業政治連盟を創立、その総裁となり、中小企業団体組合法などを制定させた。**

インスクリーム・1958 = 78歳 : 岸内閣最高顧問として訪米。

美智子妃・1959 = 79歳 : ***次男金次郎の選挙違反の容疑で参議院議員を辞職し、**

安保闘争・1960 = 80歳 :

ソノソノ病始・1961 = 81歳 :

美濃部都知事1967 = 87歳 : 持病の胆嚢炎が悪化、急性肺炎となって、**没した。**